

★トランプ大統領のベネズエラ系米国人団体向け演説

ホワイトハウス発表：2019年2月18日

会場：マイアミ州フロリダ フロリダ国際大学

メラニア大統領夫人あいさつ：ファーストレデイとして大統領と共にベネズエラの人たちを支援する皆さんにお会いでき、大変嬉しく思います。おいでの皆さんの多くは社会主義と共産主義の抑圧の下で暮らした経験から、自由に恵まれていることの意味をご存知の筈です。今ベネズエラでは自由を取り戻す瀬戸際にあります。今日、私たちはベネズエラの人々に、私たちの声を合わせて伝えなければなりません。望みはあります。私達は自由であり、ベネズエラの人々ももうすぐ自由になれると、大きな声を一つにして呼びかけましょう。

私の夫である大統領は、ベネズエラで起きている苦しみを深く心配して、今日ここにいます。これから皆さんに重要なメッセージをお伝えします。ご列席の皆様、私の夫のトランプ大統領をご紹介します。

大統領：ありがとう。こんなに素晴らしいファーストレデイを持つ米国民は本当に幸せですよ。本当に並外れて優れた人だ。国民のことをいつも気にかけている人です。

マイアミの皆さん、自由を愛する愛国的な皆さんに再びお会いできて、本当にワクワクしています。ラテンアメリカに新しい日が訪れることを宣言するためにやってきました。ベネズエラで、そして西半球のあらゆる地で社会主義が死に瀕し、自由、繁栄と民主主義がよみがえりつつあります。

今日、私たちは希望に満ちている。何故なら、何百万人ものベネズエラ人の固い決意、ベネズエラ国会の愛国心、そして暫定大統領フアン・グアイドの勇気が示されたからです。

ベネズエラの人々は自由と民主主義のために立ち上がった。そしてアメリカ合衆国は彼らの側に立っています。

先ず初めに、自由のために尽くすチャンピオンである偉大な指導者たちに感謝の意を表したい。彼等は皆さんを愛し、ベネズエラを愛し、そしてキューバを愛している。そして彼らは私たちが戦っているもの全てを愛している。

フロリダ州知事のロン・デサンテイス氏。知事に選ばれたばかりだが、早速素晴らし仕事ぶりを見せている。

私の友人で上院議員のマルコ・ルービオ氏。キューバ、ベネズエラ、ニカラグアを語れば右

に出る者はいない。

元フロリダ州知事で現上院院議員のリック・スコット氏。知事選挙ではロンにちょっと後れを取ったが、元知事として立派な仕事をされた。

下院議員のマリオ。ディアズ・バート氏、私の心にベネズエラを植え付けた張本人です。

カルロス・トルヒヨ大使、ジェネット・ヌネス副知事、新任検事総長アシュリー・ムーディ氏。他にも担当役人や関係者が多数参列しています。多数参加してくれて本当にありがとう。

商務長官のウィルバー・ロス氏にも感謝します。ライトハウザー大使は中国から帰国したばかり。いやはや、物事がどンドンうまく進んでいるのですよ。こんなにトントンと運ぶとは誰も思っていなかったでしょう、本当に。

何十億ドルも何十億ドルも、国庫にお金が転がり込んでいる。何もかもうまく行っているんだ。こんなことは今までなかった。この国にこんな感覚はなかった。今実感しているよ。

この重要なイベントを主催してくれたフロリダ国際大学学長のマーク・ローゼンバーグ博士に深く感謝します。

そして最後に本日ご来場の皆さん、人間の尊厳について自分の考えをお持ちの皆さん一人ひとりにお礼を申し上げます。

特別に感謝したいのは、ベネズエラからの亡命者団体の皆さんです。皆さんは同胞支援の組織などでグァイド大統領の支援に多大の貢献をされた。ご来場を本当に嬉しく思います。私たちは皆さんと一心同体です。

全ての反体制運動家、亡命者、政治犯、そして社会主義と共産主義の恐怖を目撃し、勇気をもって反対を表明してくれた人たちに心から感謝しています。本当にありがとう。

あなた方が犯罪と腐敗を目撃したという事実がある。飢餓と苦しみを目にし、助けを求める叫び声を聞いた。反対し、注意深く、声を上げて抗議した。そしてその地域の全ての人々が自由になれる日が来ることを祈ってくれました。

(会場から USA! USA! USA! の歓声)

本日のこの集いで、ベネズエラの人たちが歴史の転換点に立ち、自分の国を取り戻し、未来を自分たちのものにするようになります。

少し前まで、ベネズエラは南米の中でずばぬけて豊かな国だった。しかしこの繁栄は、社会主義者が支配している間に、破滅寸前にまで落ち込んだ。それが今日の姿です。

圧政的な社会主義政権が民間企業を国有化した。彼等は富を収奪して自由市場を閉じ、言論を抑圧し、執拗なプロパガンダを構築し、不正選挙を行い、政府権力で政敵を迫害し、公正な法治制度を破壊した。

言い換えるならば、社会主義者がベネズエラで行ったことは、社会主義者、共産主義者、全体主義者がこれまでやってきことと同じで、その結果は大失敗ばかりだった。

現在ベネズエラ人の 90%近くが貧困の状態にあります。2018 年にベネズエラのインフレ率は 1 百万%を超えた。食料不足は深刻で薬品不足による疫病の流行が止まらない。社会主義政権がこの偉大な国をどん底に突き落とした。世界最大の石油保有国に電灯も点かない。こんなことは我々には絶対に起きない。

(会場から USA! USA! USA! の歓声)

既に 3 百万人を超えるベネズエラ人がマドゥーロの残虐な敵対行為から脱出した。まさに残虐と言うしかない。

本日この場にアミンサ・ペレスさんにおいでいただきました。ベネズエラの勇気ある警官、オスカル・ペレス氏のお母さんです。皆さんご存知の、です。

2017 年 6 月、オスカル氏は「350 リバティー」と書いた吹き流しを付けたヘリコプターを操縦してバルータ市の上空を飛びました。「350 リバティー」はベネズエラ憲法 350 条のことで、その条文には「ベネズエラ国民は民主的なルールの侵犯や人権を侵害する政権を否認する権利を有する」と書いてある。

オスカル氏は国民に希望を与えたかったと言った。彼は国民を愛し国民のために戦った。国民もオスカル氏を愛した。しかしオスカル氏は銃に倒れた。皆さんよくご存じのように、ベネズエラの治安当局によって残忍にも殺害されたのです。

アミンサさん、貴女が失ったものに私たちの心がはり裂けます。オスカル氏は国民の自由に命を捧げた。偉大な愛国者オスカル氏によって私たちの希望はつながれている。さあ、アミンサさん、スペイン語で何か言ってください。スペイン語の方が少し楽ですよ。さあ、どうぞ、さあ。(何かスペイン語で話したが、通訳なし)

今おっしゃった言葉は分からないが、何をおっしゃりたかったか分かります。本当に素晴らしい女性です。そしてオスカル氏も無駄に死ぬような人ではない。

数週間前の1月23日、ベネズエラ国会は憲法の規定により国民会議議場のフアン・グアイド氏を国家の合法的な首長に指名した。大統領としての最初の仕事の一つは、オスカル氏が空に掲げ世界に告げたマドゥーロの不適法を憲法の条文にてらして発令することでした。

それから30分以内に、アメリカ合衆国はグアイド大統領を正式承認した世界最初の国になりました。

(会場から USA! USA! USA! の歓声)

ところでボルトン大統領補佐官がここに来ている筈だが。よく頑張ってくれたよ。

本日現在、世界の50カ国以上がベネズエラの合法政府を承認しています。ベネズエラの国民が声を上げ、世界はその美しい声を聞いたのです。彼らは社会主義からページをめくり、独裁者のページを閉じ、もう戻ることはない。

世界の平和愛好国はベネズエラが民主主義と尊厳と将来を取り戻す支援を始めています。西側の全ての国は社会主義者による圧政を食い止めるという点で同じ見解に立っている。社会主義は本質的に国境を尊重しない。社会主義は自国民と隣国民の間の境界や権利を尊重しない。常に拡大を求めて侵害し自分の意思に従わせようとするだけです。

西側諸国における社会主義はたそがれの時を迎えている。そして正直なところ、世界のどこでも同じ状況だ。社会主義、共産主義に残された日々は、ベネズエラだけでなくニカラグアでもキューバでも、もう数えられるだけになった。

キューバが好きですか？ニカラグアは好きですか？偉大な国だ。尽きない可能性。この言葉を覚えておこう。信じがたいほど大きな可能性だ。

ところで、人道的な災害を終わらせるために力を合わなければならない。数百万人の難民が緊急に必要としている数百トンの人道支援物資を積んだトラックが、ベネズエラ国境で止められたままになっている。

2日前、ベネズエラの子供たちが必要としている栄養食品など数千袋の緊急物資を積んだ米空軍のC17輸送機 - 大きくて美しい飛行機 - がコロンビアに着陸した。だが独裁者マドゥーロはこの救命用物資の入国を阻止した。彼は国民を救うことより餓えさせることを望んでいるのだ。

数百万人のベネズエラ人が飢えと病に苦しむのは、マドゥーロ政権の一握りの幹部が貧困と死の国に陥れているからだ。我々はそれが誰か知っている、盗み出した巨万の富をどこに隠しているかも知っている。

信じられないことだが、ベネズエラの軍人たちがいまだに倒れた独裁者を守ろうとしている。彼等はキューバ軍によってコントロールされキューバ軍の私兵に守られている一人の人物のために、自分の命と将来を、ベネズエラの将来をリスクにさらしているのだ。マドゥーロはベネズエラのパイロットではない、キューバのパペット（操り人形）なのだ。それが彼の実の姿だ。

過去には何億ドルものお金がキューバに持ち込まれていたが、そんな時代は過ぎた。キューバにもうそんなお金はない。状況は変化している、しかも急速に。

この際、マドゥーロを取り巻く人たちに言うておきたい。世界の目が諸君に向けられている。諸君は目の前の選択から逃れられない。グアイド大統領の寛容な赦免を受け入れて家族や使用人と共に平和に暮らす道が一つ。グアイド大統領は報復しないし、我々もしない。しかし、人道支援を妨害するマドゥーロの命令に従ってはならず、平和的な抗議者、野党指導者、国会議員、グアイド大統領とその家族に対していかなる暴力的な脅威を与えてはならない。

私たちは平和的な権力移譲を求めているが、すべての選択肢は残されている。ベネズエラの民主主義を回復する上で、ベネズエラ軍とその幹部は果たすべき重要な役割を担っている。この道を選べば、諸君がベネズエラの全ての人々の安全で豊かな未来を築く力になれる。

2つ目の道はマドゥーロをサポートし続けることだ。もしこの道を選べば、安全な港も容易な出口も逃げる道もなくなる。全てを失うことになる。

ここでマドゥーロ政権の一人ひとりに問いかける。国民の貧困と飢餓と死の恐怖を終わらせ、国民の意思に任せ、国を自由にすること。今こそベネズエラの愛国者たちが一体になるべき時なのだ。ベネズエラの将来にとってこれ以上のことはない。そしてもう一つの囚われの国、キューバの将来にも、ベネズエラの自由化と民主化による再生が最も望ましいのだ。

(会場から USA! USA! USA! の歓声)

何十年もの間、キューバとベネズエラの社会主義独裁政権は、非常に汚い取引で支えあってきた。ベネズエラはキューバに油を与え、見返りにキューバはハバナからベネズエラ直行の国家警察を与えてきたのだ。

だが今は違う。そんな日は過去のもので、2つの独裁政権の醜い同盟関係はもうおしまい。新しい未来が始まったのだ。この地域の我々だけでなく、我々を囲む何千、何千、何千という人たちが、ベネズエラ、キューバ、ニカラグア、そして世界中の社会主義の真実を知ることにより、今や一致団結している現実を見なければならない。

社会主義は繁栄を約束するが、もたらされるものは貧困。
社会主義は団結を約束するが、もたらされるものは憎しみと分裂。
社会主義はより良い未来を約束するが、常に過去の最も暗い章に舞い戻る。
間違いなく、いつもそうなるものなのだ。

社会主義は、歴史と人間の本性についての無知に根ざした悲しいそして信憑性のないイデオロギーであり、そのために社会主義のゆきつくところは専制政治であり、社会主義者は多様性を好むと言いながら、絶対的な同一性にこだわるものなのだ。

社会主義は正義に関せず、平等に関せず、貧しい人々を向上させるものでないことを我々は知っている。社会主義はただ一つ、支配階級のためのパワーであり、パワーを持つともっと持ちたくなる、ということなのです。保険制度を運営し、輸送と金融を運営し、エネルギーを運営し、教育を運営し、何から何まで運営したくなる。

誰が勝って誰が負け、誰が上で誰が下で、何が正しく何が誤りで、誰が生き誰が死ぬか、決めるパワーを持ちたがる。

一言で言えば、今日ここにいる我々は社会主義ほど非民主的なものはないと知っている。進歩の旗の下で社会主義が発展すると言うが、結局のところ、汚職、搾取と崩壊でおしまいになるものなのです。

本日はデヴィッド・スモランスキーさんがお見えです。マドゥーロ政権下で最も若い市長の一人だったが、解任されて逮捕状が出た。危険な南部のジャングルに逃げてブラジルに脱出し、諸手を広げて歓迎された人です。

デヴィッド氏はアメリカに亡命し、ベネズエラの人々のために発言し続けています。悲しむべきことに、彼は家族の中で社会主義と共産主義の苦悩から逃れ出た3代目なのです。祖父母は1927年にソビエト連邦から脱出し、父親は1970年に共産キューバから脱出しました。

デヴィット氏が言うには、「私が父や祖父と違いたいと思っているのは、私は自分の国に戻るといことです。祖父母はキエフに戻れなかったし、父もハバナに戻っていませんが、私はベネズエラにすぐにでも帰りたいたいと思っています。」

デヴィットさん、そうなると思うよ。君の勇気には本当に鼓舞される。デヴィットさんだけでない、ここにいる大勢の人も同じだ。皆さんはいろいろな目に遭ってきたが、それは終わりを迎える。本当に初めて終わりを迎えることが出来るのです。何故なら、アメリカ合衆国、真に偉大な国が後ろについているからです。

(会場から USA! USA! USA! の歓声)

アメリカ合衆国がベネズエラの民主化のために立ち上がったように、キューバとニカラグアで永く苦しんできた人々や、社会主義と共産主義の下で暮らしているあらゆる人々との連帯をここに再確認する。

そして、アメリカに社会主義を押し付けたいと思っている人たちに、非常にシンプルなメッセージを伝えよう。アメリカは社会主義国に決してならないだろうと。

我々は自由に生まれ、今もそして永遠に自由であり続ける。我々はベネズエラで自由がどう機能するかを知っている。何故ならその未来をここドーラルで見ているからです。

キューバで自由がどう機能するか、その未来像をここマイアミで見ている。

ニカラグアで自由がどう機能するか、その未来像はスウィートウォーターで見ることが出来る。

そして近い将来、神のご加護によって、カラカスで、マナグアで、ハバナで人々が何をしてゆくか、見ることになるでしょう。

そしてベネズエラが自由になり、キューバが自由になり、ニカラグアが自由になった時、人類の歴史上初めて全世界が自由になるのです。

本日は皆さんと会えて本当に良かった。ファーストレイも同じです。我々は勝利している。我々はあらゆる場面で勝利してるのです。

有難う。皆さんに神のご加護を。ベネズエラの人々に、キューバの人々に、ニカラグアの人々に神のご加護を。そしてアメリカ合衆国に神のご加護を。